令和 4 年度鴻仁福祉会事業計画（案）

理事長　筒井恵子

令和 4 年度は、愛光苑創立 30 周年を迎えました。

行政の措置施設や委託事業から、介護保険事業となり 22 年の経過の中で高齢者の増加と共に、事業者も増加し競合しています。

コロナ禍にあって、この二年間の職員の緊張は続いています。そのため、まず職員一人ひとりが心身ともに元気であることが重要です。

そうした中で、今年度の目標を「明快な報告と連携」といたしました。マスク越しの声掛けですが、明るくお互いが明快に報告出来ること、また他部署とも助け合いながら、互いに連携していくことが大切であります。

ケアはなるべく小単位を心掛け、食事や入浴の場面では、特に感染対策を厳重にする必要があります。周囲にはアンテナを張り、近隣を含めてしっかりコロナが近づかない様に、情報の共有が大切です。

また今年は「すまいる宣言」の更新の年です。再び五つ星が取れる働きやすい職場となるために、努力していかねばなりません。

超高齢社会のなかで、如何にサービスを展開し、サービスの質の向上と効率化をどう進めるかを問いながら、明るい未来を展望していくことが課題です。

令和 4 年度は次の項目で事業を計画する。

重点項目

1. サービスの質の向上

2. IT の展開と科学的介護

3. ご利用者の開拓

4. 効率的な介護

5. 数値目標の向上

6. BCP のシュミレーションと共有。